

大会第1・2日(8月17・18日)全日 ポスター発表

ポスター会場(3-150教室)			
番号	発表者	発表題目	備考
JP-1	畑山ほのか	湯沢市の見えない火山の証拠を探る	ジュニア・17日のみ
P-1	山崎博史	地学教育におけるジオシステムサービスの扱いに関する一考察	
P-2	矢口 徹・大友幸子	山形県最上町の地形と地質の教材化ー地域の大地の生い立ちと変化の学習ー	
P-3	山口一裕・野瀬重人・定金司郎・田邊信男・水野正行	岡山県地質図の再構築の試みと活用法の検討	
P-4	唐田幸彦・久田健一郎・鎌田祥仁・藤野滋弘	大学におけるGISを用いたデジタル地質図の作成実習の実践ーその意義と検証ー	
P-5	池田祥伸・小山西菜子・株木悠汰・深見博貴	地質図Naviを用いた我々の地学学習の軌跡	
P-6	竹下欣宏・富樫 均・土屋武史・渋谷孝信・中川知津子・笠原大弘・田澤岳哉・桐生和樹・村松 武・田辺智隆・陶山 徹・関めぐみ	長野県デジタル地質図と河原の石ころを利用した地学教材の開発とその活用	
P-7	久森洸希・山崎博史・吉富健一・武永有岐子	地層の観察力向上を観察者自身に認識させるための野外観察実習の工夫ーメタ認知的活動を取り入れた野外観察の可能性ー	
P-8	下岡順直	偏光顕微鏡を用いた主要造岩鉱物の同定観察を行うための予習用動画の作成	
P-9	土門直子・大友幸子	「岩石教材園」を活用した火成岩のつくりの授業展開(特に流紋岩の判別結果)	
P-10	相場博明・椋原礼士・須黒達巳・今城有貴	学校サイエンスミュージアムにおける地学教材展示方法の工夫	
P-11	武永有岐子・杉田泰一・山崎博史	火成活動を通時的に理解するための中学校理科の探究的学習プログラムの開発ー単元計画の工夫と生徒実験の活用ー	
P-12	関 陽児・野村怜史・磯野航也・岩澤雄太	ジェットポンプを用いた火山噴火模擬装置	
P-13	伊藤 孝・石島恵美子・鈴木一史・千葉真由美	地球科学的な学びの素材としての昔話ー大学生における日本昔話の認知度と今後の展開ー	
P-14	桐生和樹・竹下欣宏	河原の石ころ標本を活用した授業の取り組み	
P-15	西連地信男	茨城県東海村周辺のホタルの生息と地形	
P-16	伊藤信成	日の出の位置の季節変化に対する認識調査:三重大学教育学部での場合	
P-17	田口瑞穂・鈴木香春	野外観察学習の実施状況と教員の意識:小学校理科「流れる水の働きと土地の変化」の学習において	
P-18	高橋杏一・川村教一・山下清次	石膏の水溶液を用いた土石流のモデル実験装置の開発	
P-19	松井香菜子・川村教一・田口瑞穂・山下清次	雨水の行方と地面の様子についての大学生の認識調査結果	
P-20	山下清次・川村教一	砂層の液状化現象のモデル実験教材の開発	
P-21	川村教一・松井香菜子・田口瑞穂・山下清次	土の透水モデル実験の大学生向け実践:小学校理科「雨水の行方と地面の様子」の学習のために	

お願い

- ・発表者の許可なくポスターなど発表物を写真・ビデオ撮影することはご遠慮ください。
- ・発表者は、少なくともコアタイム I・II のいずれかの時間帯にポスター前でのご説明をお願いします。(ジュニアセッションは除く)
- ・ポスター撤去は第2日14時30分までをお願いします。それ以降も掲示されているポスターは実行委員会が処分いたします。